

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

我々に関わる全てに感謝し、事業活動を通じて期待や要請に応え、社会的責任を果たしていく。

売上高
70億円

経常利益額
3億50百万円

ROE
10%維持

PBR
1.2倍以上

② 中長期の経営戦略

1. 脱炭素社会への対応

環境アセスメント、設備工事関連ソリューション強化、環境・防災関連商品販売等で新規ニーズに対応。

2. グローバル展開

培った技術力をアジア諸国に展開し、グローバル企業としての位置付けを確立。

3. 第2次中期経営計画

2027年6月期を最終目標に、5点の重点施策を確実に実行し、持続的成長と企業価値向上を実現。

③ 対処すべき課題

① 人的資本価値向上

- ・ 志「あやなろう」のもと人財育成・活用・交流・健康経営を推進。
- ・ 無形価値の最大化により企業価値向上を目指す。

② 新規事業とDX戦略

- ・ 外部連携やDX戦略を積極的に推進。
- ・ 「まちづくり事業」「海外事業」等、未開拓領域への参入や新規事業へのチャレンジ。

③ 成長分野の拡大と最適化

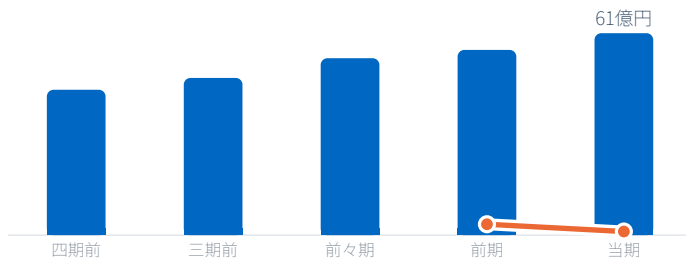
- ・ 政策コンサル・受託試験・工事・アスベスト・アセスメント・農業・省エネを注力分野に。
- ・ 人的資本効率の向上と収益性向上を図る。
- ・ 環境コンシェルジュとして他社との差別化を実現。

面接で使えるポイント

- ・ 1971年創業以来、環境の総合コンサルタントとして現場からの提言で社会基盤に貢献。
- ・ 脱炭素社会実現に向け、従来の計量業務から問題解決提案まで、お客様のニーズに応える。
- ・ 志『あやなろう』の精神で人財を育成し、2027年度に売上高70億円の達成を目指す。

証券コード 4657

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
環境計量証明業を基盤とした事業を展開するサービス企業

主力事業・セグメント

- ・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
61億円営業利益率
1.8%財務健康度
21点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 36.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
495万円

サービス業内 405位/524社

平均年齢
41.5歳

サービス業内 148位/527社

平均勤続
15.2年

サービス業内 29位/527社

女性管理職
9.2%

サービス業内 297位/371社

男性育休
100.0%

サービス業内 45位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 環境管理センター、“測るだけ”では終わらないPFAS対策を目

